

令和5年度 主な事業(区づくり事業以外)一覧

予算額:22,380千円(重点事業:18,000千円、主な事業:4,380千円)

(単位:千円)

事業名	R5予算	事業目的	R5年度(当初)事業内容	R5年度実施(予定)状況	これまでの成果・課題など R6年度の方向性	課名
II 人と人のつながりを大切に作る安心安全なまち						
◎重点事業(区長提案事業)						
1 江南区商・農・福連携推進事業	3,000	障がい者の就労支援を目的に、区内で商・農業者と障がい福祉事業所とのマッチングの仕組みを構築し、仕事の受注、魅力ある授産品の開発及び販路の拡大を促進する。	○担い手となる組織の立ち上げとマッチングシステムの構築 ○魅力ある授産品の開発と戦略的プロモーション	○江南区商・農・福連携推進連絡会・交流会を開催 ○マッチングシステムのしくみづくり、運用開始 ○魅力ある授産品の開発 ○イベント等における授産品販売及びPRを実施(にいがた2km食花マルシェ、こうなんふれ愛まつり、江南区民福祉大会)	【これまでの成果・課題など・R6年度の方向性】 ○区内商・農業者とのマッチングによる障がい福祉事業所の仕事受注を促進 ○授産品の開発ならびにプロモーションの実施 ○自走化に向けた検討	健康福祉課
◎主な事業(区づくり事業から移行事業)						
2 江南区安心・安全づくりの推進	2,600	大規模災害に備え、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識の醸成を図り、安心安全な地域づくりを推進する。	○避難所ごとの避難所運営委員会結成に係る講習会の実施 ○地域防災力向上のため、自主防災組織等による訓練の支援、訓練実施に向けたフォローアップ研修の開催 ○区内公立中学校でのジュニアレスキュー隊育成講習会の開催	○災害時において、円滑な避難所運営ができる体制の構築に向け、平時からの避難所運営委員会立ち上げに向けたワークショップを重点地区(令和5年度亀田小学校区、亀田西小学校区)にて実施予定。 ○活動が低迷している自主防災組織を対象に、ワークショップを開催予定。 ○区内公立5中学校でジュニアレスキュー隊育成講習会を開催済み。8月時点で未開催の1校は11月に実施予定。	【これまでの成果・課題など】 ・自分たちの地域は自分たちで守るという意識の醸成により安心・安全な地域づくりが図られている。 ・若年層における防災意識の啓発や技術の習得が図られているほか、平時からの避難所運営等の検討を機に、コミ協単位での地域防災力の向上が図られている。 ・感染症の影響により、減少していた防災訓練の状況も過去3年間に比べ多くなっている。反面、活動を再開することに躊躇している自主防災組織も多くみられる。 【R6年度の方向性】 ・防災意識の啓発、地域防災力の向上に資する取り組みを引き続き実施していく。	地域総務課
3 地域で見守り・地域で子育て応援事業	630	地域の中で、子育てを応援したい人、認知症高齢者を支援したい人を掘り起こし、地域全体で見守ることで、子育て世代や高齢者を支え、安心して暮らせる地域づくりを推進する。	(子育て) ○子育て応援団バッジを配布し、地域で一体的に子育てを応援する機運を醸成。引き続き登録の周知と促進を行う。 ○子育て交流会を開催し、支援を必要とする人が望む支援を受けられるよう仕組みづくりを行う。 (見守り) ○江南区見守り隊メール(メール配信)は、積極的な広報を継続する ○江南区見守りシール交付事業は、対象者をより申請に結びつけるため、介護認定調査内容を踏まえた申請勧奨を実施。	(子育て) ○子育て応援団の周知について、区だよりへの掲載のほか、10月に農業関係者に対して周知を行う予定 ○子育て交流会を11月または12月に開催予定 (見守り) ○江南区見守り隊メール(メール配信)は、区だよりへの掲載、区内タクシー業者への周知など、積極的な広報を実施 ○江南区見守りシール交付事業は、対象者をより申請に結びつけるため、介護認定調査内容を踏まえた申請勧奨を実施	【これまでの成果・課題など・R6年度の方向性】 (子育て) ○472の方が子育て応援団に登録 ○子育て交流会を年1回開催しているが、「回数が少ない、子育て世代にもっと参加してもらいべき」との声があり、回数等を検討して事業を継続する (見守り) ○江南区見守り隊メール(メール配信)は、積極的な広報を継続する ○江南区見守りシール交付事業は、見守りシールの周知とともに、シールを身に着けた人への適切な対応についても広報を継続する	健康福祉課

事業名	R5予算	事業目的	R5年度(当初)事業内容	R5年度実施(予定)状況	これまでの成果・課題など R6年度の方向性	課名
4 江南区ふれあい・ささえあいプランの推進 ・フレイル予防訪問事業 ・区民福祉大会	1,150	フレイルを予防することで、健康寿命の延伸を目指すとともに、区民福祉大会の開催により、地域福祉について考える機会を設け、誰もが安心して暮らすことができる地域社会を目指す。	(フレイル予防) ○高齢者世帯を対象とした保健師の訪問によるフレイルチェックの実施 (区民福祉大会) ○地域福祉推進フォーラムの開催	(フレイル予防) ○大江山地区の高齢者に対して、9月からフレイル訪問を実施予定 (区民福祉大会) ○江南区民福祉大会を11月25日(土)に開催予定 ○今年度は、地域福祉推進フォーラムのほか、4年ぶりにパネルディスカッション(実践報告)を行う予定	【これまでの成果・課題など・R6年度の方向性】 (フレイル予防) ○区内の全ての圏域(曾野木・両川、大江山・横越、亀田の3圏域)でフレイル予防訪問を実施 ○実施済みの2圏域においては、対象者の方々は健康(フレイル非該当)であった ○今後は、各種健康講座の充実や、地域包括支援センター等と連携したフレイル予防の啓発など、個別から全体への周知に移行する (区民福祉大会) ○地域福祉について考える機会として、一定の成果があると考えますが、参加者の減少や固定化など、新規参加者の開拓が課題となっている ○テーマや講師などを工夫するなどしながら、事業を継続する	健康福祉課
IV 人が輝き文化が育まれ健やかに過ごせるまち						
◎重点事業(区長提案事業)						
5 横越総合体育館バスケットゴール更新	15,000	横越総合体育館のバスケットゴールは、約28年使用し、経年劣化により不具合が生じていることから、更新することでスポーツ施設の利用環境の充実を図る。	○バスケットゴール(2対4基)の更新	予算及び横越総合体育館の施設状況に適合する規格を検証し、7月に一般競争入札を実施した。 9月末までには2対4基の更新完了予定。	【これまでの成果・課題など・R6年度の方向性】 老朽化していたバスケットゴールの更新により、安全性の確保と利用者サービスの向上が図られた。 令和5年度で事業完了。	産業振興課

V 区民が主役となる協働のまち						
◎その他事業(補助事業)						
6 新潟市まちづくりパートナーシップ事業	(3,000) ※3年度で総額300万円	行政課題の解決に向け、区がテーマを設定し、広く民間企業、NPOなど多様な主体から提案を募集する。その中から優れた提案事業を選定し、提案者の取組を補助する。 テーマ:公共的空間を活用した江南区農産物の販売促進及び賑わいの創出	○はじまりの朝市(亀田三・九の市会場で「3と9がつく、日曜日」にマルシェを開催) ・地元農産物など特産の販売 ・多様なキッチンカーの誘致 ・将来性を見込んだチャレンジショップのサポート	○はじまりの朝市(亀田三・九の市会場で「3と9がつく、日曜日」にマルシェを開催) ・地元農産物など特産の販売 ・多様なキッチンカーの誘致 ・将来性を見込んだチャレンジショップのサポート	【これまでの成果・課題など】 第1回目として8月13日に開催し、キッチンカーや地元農産物の販売などを実施し、賑わいがみられた。 【R6年度の方向性】 引き続き実施していくことで、歴史的な地域資源である「亀田三・九の市」の活性化、区の魅力である地元農産物の販売・PR、地域の賑わい創出を図る。	地域総務課